

このガイドを注意してお読みになり、以下の指示に従って下さい。

### 手術後 24 時間

麻酔を受けてから 1 日経過するまでは、車の運転、法的文書への署名、機械の操作を行わないで下さい。  
処方された抗生物質の服用を開始して下さい。（吐き気をもよおさないように食間に服用して下さい。）  
経口避妊薬の服用を続ける場合は、手術の当日または翌日に服用を始めなければなりません。ほとんどの薬は、2 週間経過しないと効果を発揮しません。

### 手術後 2 週間

激しい運動や重い物を持ち上げることは必ず避けてください。エアロビクス、ヨガ、およびジョギングは行えます。  
処方どおりに全ての抗生物質の服用を続けて下さい。（食間に服用してください。）  
感染症（未処置で放置すると不妊または深刻な病気につながる可能性があります）を避けるために：  
● 性交は必ず避けてください。  
● 水泳や入浴は必ず避けてください。シャワーは浴びても構いません。  
● タンポンの使用は必ず避けてください。代わりにナプキンをご使用下さい。  
● ビデの使用は必ず避けてください。 2 週間は膣に何も入れないようにして下さい。

### 手術後から次の月経までに起こりうること

次の月経は手術の 4～8 週間後になります。この時の生理は通常よりも多く長くなる可能性があります。  
手術と次の月経の間に妊娠する可能性はありますので、必ず何らかの形で必ず避妊を行ってください。  
最高 3 週間まで妊娠テストは陽性を示し続けます。ですからこの時期の妊娠テスト結果は、必ずしも妊娠が継続していることを示しているわけではありません。

手術後の出血は中絶後に起こる可能性があります。以下の出血の場合は全て正常です。

- 1 日間少量の出血があり、以降は出血しない。
- 4～5 日間少量の出血があるか全く出血がなく、その後数日続く大量出血と腹痛（軽い生理痛に似ている）がある。
- 次の月経までに軽い「時おり見られる出血」が起こる場合もあります。

以下の項目にあてはまることがあれば、相談のためにクリニックにご連絡下さい

- いつでも、1 時間でナプキンから漏れるほどの出血が 2～3 時間続く。
- いつでも、24 時間で 5 枚のナプキンで不足するほど出血が起こる。
- 手術後 2 週間以上、月経のような大量の出血が続く。ただし、人によっては軽い出血や時々出血がおこることは正常です。
- 無出血または出血をともなう激しい腹痛がある。
- 手術後 24 時間で気分が悪くなり始めた場合は、体温を測定して下さい。2 回の測定で 37.2 度を超える場合は、クリニックにご連絡下さい。体温上昇は感染症を示す可能性があり、別の処置が必要となります。
- 異常なまたは膣からの不快な流出物を感じる。
- 1 週間たってもまだ妊娠の症状（つわり、倦怠感、頻尿）がある。注意:しかし乳房の圧痛などの症状は 2 週間続くことがあります。きついブラジャーの着用により、この症状を軽減することができる場合があります。

10 日から 14 日後に検診を受けられることをおすすめします。かかりつけ医や紹介を受けた医師にご相談下さい。

手術についてご不安がある場合は、どのようなことでもクリニックにお電話下さい。

(02) 9690 0000 この番号は急患用の番号であり、24 時間つながります。すぐにつながらない場合は、短い伝言を残して下さい。緊急の事態でクリニックに連絡がつかない場合は、最寄りの病院の救急病棟にかかって下さい。